

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和05年03月31日

計画の名称	泉大津市下水道社会資本整備計画														
計画の期間	平成 2 7 年度 ~ 平成 3 1 年度 (5年間)												重点配分対象の該当		
交付対象	泉大津市														
計画の目標	未普及地区の解消に向けて整備を推進し、健康で衛生的な生活環境の確保と公共水域の水質保全に努める。 臨海部（夕凧町）における港湾計画に伴い、汚水の排除、浸水防除に努める。 内陸部に降った雨水を速やかに排除し、浸水被害の防除に努める。														
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		1,072	A	1,072	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	計画期間内に未普及地区11.64haの整備を完了させ、整備人口470人増加させる。			
	下水道未普及地区の解消 下水道面積整備率 = 実施整備面積（ha） / 計画期間内整備予定面積（11.64ha）	0%	87%	100%
2	臨海部（夕凧町）において、計画期間内に汚水排除区域を26.71haから30.86haに増加させる。			
	臨海部の汚水排除 下水道面積整備率 = 実施整備面積（ha） / 計画期間内整備予定面積（4.15ha）	0%	100%	100%
3	臨海部（夕凧町）において、計画期間内に雨水排除区域を26.69haから45.09haに増加させる。			
	臨海部の浸水排除 下水道面積整備率 = 実施整備面積（ha） / 計画期間内整備予定面積（18.40ha）	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）		事業内容 （延長・面積等）		市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	泉大津市	直接	泉大津市	管渠（ 污水）	新設	湾岸北部処理区 污水管 渠整備事業		污水管 Φ200mm L=0.1km		泉大津市	■	■	■			15	-	-
	A07-002	下水道	一般	泉大津市	直接	泉大津市	管渠（ 污水）	新設	湾岸北部処理区 污水管 渠整備事業		污水管 Φ200mm L=0.6km		泉大津市					■	17	-	-
	A07-003	下水道	一般	泉大津市	直接	泉大津市	管渠（ 污水）	新設	湾岸北部処理区 污水管 渠整備事業（臨海部）		污水管 Φ200mm L=0.3km、 設計		泉大津市	■	■				71	-	-
	A07-004	下水道	一般	泉大津市	直接	泉大津市	管渠（ 雨水）	新設	湾岸北部処理区 雨水管 渠整備事業（臨海部）		雨水管 □1800～Φ700mm L =1.0km、設計		泉大津市	■	■	■	■	■	885	-	-
	A07-005	下水道	一般	泉大津市	直接	泉大津市	ポンプ 場	改築	汐見ポンプ場 雨水 1 号 ポンプ更新事業		ポンプ 1 基		泉大津市	■					75	-	策定済
		下水道長寿命化計画																			
A07-006	下水道	一般	泉大津市	直接	泉大津市	管渠（ 雨水）	新設	湾岸北部処理区 雨水管 渠整備事業		雨水管 Φ1200mm L=0.4km 、設計		泉大津市					■	9		-	
												小計						1,072			

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						1,072		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
学識経験者等を評価者として選出し、事後評価を受ける。	令和5年3月
	公表の方法
	市のホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・未普及地区の6.70haにおいて、普及率の向上につながった。 ・夕凧町の4.15haにおいて、公共下水道での汚水排除が可能となった。 ・夕凧町の18.40haにおいて、公共下水道での雨水排除が可能となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・約270人の住民等が公共下水道へ接続できるようになった。 ・公共用水域の水質保全と住居者等の健康的で衛生的な生活環境の改善に寄与した。 ・夕凧町におけるインフラ整備により、港湾の振興発展につながった。

○特記事項（今後の方針等）

- ・私道等の布設要望箇所や本計画で未施工となった箇所の汚水整備を優先的に進めていくとともに、水洗化の案内等により公共下水道への早期接続を促し、健康的で衛生的な生活環境の確保に努める。
- ・近年、ゲリラ豪雨等による浸水被害が各地で発生していることから今後の雨水整備の方針を策定し、その方針に基づき効率的で効果的な雨水整備を進めることで、内水による浸水被害の防止に努める。
- ・夕凧町の整備については道路整備に併せて実施していくことで、大阪港湾局の企業誘致に寄与し、臨港地区の発展につなげる。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道面積整備率		
	最 終 目標値	100%	私道等の布設要望があった箇所を優先して整備を行ったことにより、計画予定箇所を整備できなかったため。
	最 終 実績値	58%	
2	下水道面積整備率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
3	下水道面積整備率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月31日

計画の名称	泉大津市下水道社会資本整備計画（防災・安全）												
計画の期間	平成 2 7 年度 ~ 平成 3 1 年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	泉大津市												
計画の目標	下水道事業において、施設の継続的な運転、リスク低減など安定的かつ経済的な改築計画に基づき更新工事等を行っていく。												
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）	1,727	A	1,727	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	下水道事業において、汐見ポンプ場の更新計画項目を11件を完了させる。 汐見ポンプ場の第 1 期長寿命化計画対策事業 長寿命化事業対策実施率 = 実施項目（項目） / 計画期間内実施予定項目（11項目）	0%	55%	100%
2	下水道事業において、汐見ポンプ場の更新計画項目を3件を完了させる。 汐見ポンプ場のストックマネジメント計画対策事業 ストックマネジメント計画事業対策実施率 = 実施項目（項目） / 計画期間内実施予定項目（3項目）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	泉大津市	直接	泉大津市	ポンプ 場	改築	汐見ポンプ場 長寿命化 計画対策事業（第 1 期）	対策	泉大津市	■	■	■	■		678	-	策定済
		下水道長寿命化計画																	
		A07-002	下水道	一般	泉大津市	直接	泉大津市	ポンプ 場	改築	汐見ポンプ場 ストック マネジメント計画対策事 業	計画策定、設計及び対策	泉大津市				■	■	737	-
	下水道ストックマネジメント計画																		
	A07-003		下水道	一般	泉大津市	直接	泉大津市	ポンプ 場	改築	汐見ポンプ場 耐震及び 耐津波対策事業	診断、設計及び対策	泉大津市	■	■	■	■	■	157	-
		A07-004	下水道	一般	泉大津市	直接	泉大津市	ポンプ 場	改築	小松雨水ポンプ場 スト ックマネジメント計画対 策事業	計画策定、設計	泉大津市			■	■	■	91	-
	下水道ストックマネジメント計画																		
	A07-005		下水道	一般	泉大津市	直接	泉大津市	ポンプ 場	改築	小松雨水ポンプ場 耐震 及び耐津波対策事業	診断、設計	泉大津市	■	■	■	■	■	64	-
											小計						1,727		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						1,727		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
学識経験者等を評価者として選出し、事後評価を受ける。	令和5年3月
	公表の方法
	市のホームページに掲載
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ 雨水ポンプ設備及び沈砂池設備の更新を完了することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・ 雨水ポンプ設備及び沈砂池設備の継続的な運転が可能となり、機器が故障するリスクの低減を図ることができた。
○ 特記事項（今後の方針等）	
・ ポンプ場施設について、ストックマネジメント計画に基づき設備の更新を実施し、また、施設の耐震・耐津波化を図ることで、雨水排除等を継続的に行い、内水による浸水被害の防止に努める。 ・ 管渠施設についてもストックマネジメント計画に基づき点検・調査を実施し、老朽化した管渠の更新を進めていくことで、引き続き健康で衛生的な生活環境の確保に努める。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	長寿命化事業対策実施率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	ストックマネジメント計画事業対策実施率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	